

## ◆点検シート(新基準)

評価基準	1 理念・目的	点検単位	家政学研究科 生活造形学専攻
点検・評価年度	2018年度(対象:2017年度)		

## ① 大学の理念・目的を適切に設定しているか。また、それを踏まえ、学部・研究科の目的を適切に設定しているか。

【現状説明】必ず記入…設定した目標の進捗状況・評価の視点を含め、400字～500字(10行以内)で現状説明を記入。

平成25(2013)年3月26日付で「京都女子大学大学院人材養成・教育研究上の目的に関する規程」が制定され、理念・目的が設定された。

「生活造形学専攻(博士前期課程)では、学則で目標を定めた事に基づいて、造形意匠学、アパレル造形学、空間造形学の3研究領域では、互いに密接に連携して教育・研究を展開している。造形意匠学領域では「造形芸術、工芸、デザイン」などの分野について、アパレル造形学領域では「健康な快適衣環境とファッションの創造」をテーマに、空間造形学領域では「建築計画、建築設計、建築史、インテリアデザイン」などの分野について教育・研究を行っている。

生活造形に関わる広い知識を基礎として、高い専門的能力を有した創造力豊かな研究者・職業人の育成を行っている。学位取得後には公的機関、私企業などの専門職として、あるいは独立した専門家として創作・デザイン、アパレル、建築・インテリアなどの分野で活躍できる人材の育成をすすめている。

上記の目的の設定に基づき、研究科の目的を適切に設定している。

【点検・評価】必ず記入…効果が上がっている事項または、改善すべき事項のうち、どちらか記入(両方記入可)。

【成果および伸長方策】…現状説明の中から効果が上がっている事項を箇条書きで記入。

研究科の目的に基づいて、共通の研究会を持つことなどにより、連携した研究教育活動を行っている。

【課題および改善方策】…現状説明の中から改善すべき事項を箇条書きで記入。

【将来に向けた発展方策】…実行可能な方策が計画されている場合のみ具体的に記入。

【将来に向けた発展方策(伸長方策)】…点検・評価(効果が上がっている事項)に関連させ、今後の伸長方策を記入。

【将来に向けた発展方策(改善方策)】…点検・評価(改善すべき事項)に関連させ、今後の改善方策を記入。

## ② 大学の理念・目的及び学部・研究科等の目的を学則又はこれに準ずる規則等に適切に明示し、教職員及び学生に周知し、社会に対して公表しているか。

【現状説明】必ず記入…設定した目標の進捗状況・評価の視点を含め、400字～500字(10行以内)で現状説明を記入。

「京都女子大学大学院人材養成・教育研究上の目的に関する規程」に基づき、生活造形学専攻の理念・目的は掲示され、学園報No.904「京都女子大学人材養成・教育研究上の目的に関する規程」[平成25(2013)年4月1日版]にて公表しているので大学構成員は熟知していると言える。

同時に、下記ホームページで理念と目標が公表されている。

<http://www.kyoto-wu.ac.jp/gakubu/graduateschool/kasei/zokei.html>

【点検・評価】必ず記入…効果が上がっている事項または、改善すべき事項のうち、どちらか記入(両方記入可)。

【成果および伸長方策】…現状説明の中から効果が上がっている事項を箇条書きで記入。

・「京都女子大学大学院人材養成・教育研究上の目的に関する規程」に基づき、生活造形学専攻の理念・目的は共有されているのである。

・構成員は目標と理念の確認を行い業務を遂行している。

・教育目標はホームページに分かりやすく明示されている。

・一定程度のホームページへのアクセスが認められる。

【課題および改善方策】…現状説明の中から改善すべき事項を箇条書きで記入。

【将来に向けた発展方策】…実行可能な方策が計画されている場合のみ具体的に記入。

【将来に向けた発展方策(伸長方策)】…点検・評価(効果が上がっている事項)に関連させ、今後の伸長方策を記入。

【将来に向けた発展方策(改善方策)】…点検・評価(改善すべき事項)に関連させ、今後の改善方策を記入。

**③ 大学の理念・目的、各学部・研究科における目的等を実現していくため、大学として将来を見据えた計画その他諸施策を設定しているか。**

<b>【現状説明】必ず記入…設定した目標の進捗状況・評価の視点を含め、400字～500字(10行以内)で現状説明を記入。</b>
個別の視点での入力不要
<b>【点検・評価】必ず記入…効果が上がっている事項または、改善すべき事項のうち、どちらか記入(両方記入可)。</b>
<b>【成果および伸長方策】…現状説明の中から効果が上がっている事項を箇条書きで記入。</b>
<b>【課題および改善方策】…現状説明の中から改善すべき事項を箇条書きで記入。</b>
<b>【将来に向けた発展方策】…実行可能な方策が計画されている場合のみ具体的に記入。</b>
<b>【将来に向けた発展方策(伸長方策)】…点検・評価(効果が上がっている事項)に関連させ、今後の伸長方策を記入。</b>
<b>【将来に向けた発展方策(改善方策)】…点検・評価(改善すべき事項)に関連させ、今後の改善方策を記入。</b>

**内部評価委員会からの評価結果(内部評価結果レポート)**

<b>一般的なコメント(総評)</b>
適切な点検・評価が行われています。
<b>改善勧告コメント(点検単位からの意見を求めるもの)</b>

**内部評価結果レポートの改善勧告コメントに対する点検単位の意見**

<b>意見</b>

## ◆点検シート(新基準)

評価基準	4 教育課程・学習成果	点検単位	家政学研究科 生活造形学専攻
点検・評価年度	2018年度(対象:2017年度)		

## ① 授与する学位ごとに、学位授与方針を定め、公表しているか。

【現状説明】必ず記入…設定した目標の進捗状況・評価の視点を含め、400字～500字(10行以内)で現状説明を記入。

「京都女子大学大学院人材養成・教育研究上の目的に関する規程」第3条 別表2の「学位授与の方針」において、生活造形学専攻の学位授与方針は下記のように明示されている。

「生活造形学専攻(博士前期課程)

次の要件と資質を有している者に対して修士(家政学)あるいは修士(学術)の学位を授与します。

《学位授与の諸要件》

大学院学則第12条に定める要件を満たし、あわせて別に定める学位論文審査基準を満たした者。

《基本的な資質》

①[知識・理解]

生活造形に関わる広い知識を習得し、かつ、造形意匠、アパレル造形、空間造形のうちの1つの領域において活躍・貢献できる高度な専門的知識を修得している。

②[技能・表現]

上記の高度な専門的知識を活用・応用する専門的能力を修得している。

③[態度・志向性]

建学の精神を深く理解し、豊かな人間性と高度な専門知識と幅広い視野を備え、生涯にわたり新しい価値を生み出していこうとする自覚を有している。

④[統合的能力]

上記①～③の高度な専門的知識や専門応用能力を統合的に活用することができ、グローバルな社会に対応できるコミュニケーション能力を身につけている。」

学位授与方針および教育課程の編成・実施の方針について恒常的かつ適切に検証するシステム構築に向けた検討を行ってきた。生活造形学専攻では研究指導の実態に合わせて規定に基づき検証し改善方法について検討をすすめている。

【点検・評価】必ず記入…効果が上がっている事項または、改善すべき事項のうち、どちらか記入(両方記入可)。

【成果および伸長方策】…現状説明の中から効果が上がっている事項を箇条書きで記入。

生活造形学専攻の学位授与方針については、生活造形学専攻会議の検討をもとに平成25(2013)年3月26日に制定された。

この内容は、大学院要覧や本学ホームページに明記されている。

【課題および改善方策】…現状説明の中から改善すべき事項を箇条書きで記入。

本学ホームページを見やすく改善するべきとの意見がある。

【将来に向けた発展方策】…実行可能な方策が計画されている場合のみ具体的に記入。

【将来に向けた発展方策(伸長方策)】…点検・評価(効果が上がっている事項)に関連させ、今後の伸長方策を記入。

【将来に向けた発展方策(改善方策)】…点検・評価(改善すべき事項)に関連させ、今後の改善方策を記入。

## ② 授与する学位ごとに、教育課程の編成・実施方針を定め、公表しているか。

【現状説明】必ず記入…設定した目標の進捗状況・評価の視点を含め、400字～500字(10行以内)で現状説明を記入。

「京都女子大学大学院人材養成・教育研究上の目的に関する規程」別表3の「教育課程の編成・実施方針」において、生活造形学専攻の教育課程の編成・実施方針は下記のように明示されている。

「生活造形学専攻では、以下の方針に基づき、教育課程を体系的に編成・実施し、その研究の成果を修士の学位論文として作成し、高度な専門的職業人及び教育・研究者、指導者としての能力の確立を目指します。①造形意匠学、アパレル造形学、空間造形学の3研究領域における基盤的・先進的な専門知識・技能を修得し、かつ、それぞれの専門領域において自立して研究課題を設定し、研究を遂行できる人材を育成する。②各研究領域以外の科目履修機会を設けることによって、専門性と同時に総合的な視野を持って生活造形に関わる様々な問題解決に貢献できる人材の育成を目指す。③最先端の課題研究の遂行を通じて、問題解決の手法、論理的な思考法、発展的課題の設定法、科学に関する倫理をより深く学ぶ。④研究の成果を社会に広く公開するためのプレゼンテーション能力を高め、専門的知識・技能を持って、産学連携、地域連携などの社会活動に参画・貢献できる機会を支援する。」

【点検・評価】必ず記入…効果が上がっている事項または、改善すべき事項のうち、どちらか記入(両方記入可)。

【成果および伸長方策】…現状説明の中から効果が上がっている事項を箇条書きで記入。

以下のホームページで掲示している。

[https://www.kyoto-wu.ac.jp/admin/13/reiki\\_honbun/j000RG00000286.html](https://www.kyoto-wu.ac.jp/admin/13/reiki_honbun/j000RG00000286.html)

【課題および改善方策】…現状説明の中から改善すべき事項を箇条書きで記入。

<b>【将来に向けた発展方策】…実行可能な方策が計画されている場合のみ具体的に記入。</b>
<b>【将来に向けた発展方策(伸長方策)】…点検・評価(効果が上がっている事項)に関連させ、今後の伸長方策を記入。</b>
<b>【将来に向けた発展方策(改善方策)】…点検・評価(改善すべき事項)に関連させ、今後の改善方策を記入。</b>

**③ 教育課程の編成・実施方針に基づき、各学位課程にふさわしい授業科目を開設し、教育課程を体系的に編成している。**

<b>【現状説明】必ず記入…設定した目標の進捗状況・評価の視点を含め、400字～500字(10行以内)で現状説明を記入。</b>
生活造形学専攻の教育目標、学位授与方針および教育課程の編成・実施方針は、「京都女子大学大学院人材養成・教育研究上の目的に関する規程」〔平成25(2013)年3月26日制定〕別表2の「学位授与方針」、別表3の「教育課程の編成・実施方針」によって定められている。
加えて、以下のホームページで掲示されている。
<a href="https://www.kyoto-wu.ac.jp/admin/13/reiki_honbun/j000RG00000286.html#e000000072">https://www.kyoto-wu.ac.jp/admin/13/reiki_honbun/j000RG00000286.html#e000000072</a> (教育目標) <a href="https://www.kyoto-wu.ac.jp/admin/13/reiki_honbun/j000RG00000286.html#e000000078">https://www.kyoto-wu.ac.jp/admin/13/reiki_honbun/j000RG00000286.html#e000000078</a> (学位授与方針) <a href="https://www.kyoto-wu.ac.jp/admin/13/reiki_honbun/j000RG00000286.html#e000000084">https://www.kyoto-wu.ac.jp/admin/13/reiki_honbun/j000RG00000286.html#e000000084</a> (教育課程の編成・実施方針)
さらに、大学院要覧にも掲載されている。
以上の事により、各学位課程にふさわしい授業科目を開設し、教育課程を体系的に編成し、公に示している事を通じて大学内部および外部から検証が常に可能となっているのである。

<b>【点検・評価】必ず記入…効果が上がっている事項または、改善すべき事項のうち、どちらか記入(両方記入可)。</b>
<b>【成果および伸長方策】…現状説明の中から効果が上がっている事項を箇条書きで記入。</b>
生活造形学専攻の学位授与方針は、生活造形学専攻会議での検討により平成25(2013)年3月26日に制定され、大学院要覧や本学ホームページに明記され、維持されている。

<b>【課題および改善方策】…現状説明の中から改善すべき事項を箇条書きで記入。</b>

<b>【将来に向けた発展方策】…実行可能な方策が計画されている場合のみ具体的に記入。</b>
<b>【将来に向けた発展方策(伸長方策)】…点検・評価(効果が上がっている事項)に関連させ、今後の伸長方策を記入。</b>
<b>【将来に向けた発展方策(改善方策)】…点検・評価(改善すべき事項)に関連させ、今後の改善方策を記入。</b>

**④ 学生の学習を活性化し、効果的に教育を行うための様々な措置を講じているか。**

<b>【現状説明】必ず記入…設定した目標の進捗状況・評価の視点を含め、400字～500字(10行以内)で現状説明を記入。</b>
本専攻では、博士課程修了学生は修了年度の次年度に学科の紀要「生活造形」において、修士論文の概要や重要な論考を発表している。この論文発表を通じて、専攻の教員は修士論文の内容や成果を的確に把握することができるようになっており、学生の研究活動の活性化と、効果的な教育の実施を行っている。
<b>【点検・評価】必ず記入…効果が上がっている事項または、改善すべき事項のうち、どちらか記入(両方記入可)。</b>
<b>【成果および伸長方策】…現状説明の中から効果が上がっている事項を箇条書きで記入。</b>
紀要「生活造形」の持続的な発行
<b>【課題および改善方策】…現状説明の中から改善すべき事項を箇条書きで記入。</b>
<b>【将来に向けた発展方策】…実行可能な方策が計画されている場合のみ具体的に記入。</b>
<b>【将来に向けた発展方策(伸長方策)】…点検・評価(効果が上がっている事項)に関連させ、今後の伸長方策を記入。</b>
<b>【将来に向けた発展方策(改善方策)】…点検・評価(改善すべき事項)に関連させ、今後の改善方策を記入。</b>

**⑤ 成績評価、単位認定及び学位授与を適切に行っているか。**

<b>【現状説明】必ず記入…設定した目標の進捗状況・評価の視点を含め、400字～500字(10行以内)で現状説明を記入。</b>
2016年度以降、すべてのシラバスにおいて成績評価の基準を明示するように、取り組みを始め、成績評価に対する質問、意義申し立てに対応する体制・制度があるので運用している。成績評価は、より客観的な評価になるように、他の研究領域の教員が参加する研究発表会を行い、指導担当教員が評価している。
<b>【点検・評価】必ず記入…効果が上がっている事項または、改善すべき事項のうち、どちらか記入(両方記入可)。</b>
<b>【成果および伸長方策】…現状説明の中から効果が上がっている事項を箇条書きで記入。</b>
多くの異なる専門分野の教員が参加することで、学生の論理的思考と研究成果の表現力が高まっている。
<b>【課題および改善方策】…現状説明の中から改善すべき事項を箇条書きで記入。</b>
<b>【将来に向けた発展方策】…実行可能な方策が計画されている場合のみ具体的に記入。</b>
<b>【将来に向けた発展方策(伸長方策)】…点検・評価(効果が上がっている事項)に関連させ、今後の伸長方策を記入。</b>
より細分化する傾向がある研究内容に異分野の知見を取り入れることで、細分化で見失われがちな広い視野で研究を眺望する視点を学生に与えてゆくことが望ましいと考えられる。
<b>【将来に向けた発展方策(改善方策)】…点検・評価(改善すべき事項)に関連させ、今後の改善方策を記入。</b>

**⑥ 学位授与方針に明示した学生の学習成果を適切に把握及び評価しているか。**

<b>【現状説明】必ず記入…設定した目標の進捗状況・評価の視点を含め、400字～500字(10行以内)で現状説明を記入。</b>
本専攻では、2016年度からすべてのシラバスにおいて成績評価の基準を明示するように取り組みを始め、成績評価に対する質問、意義申し立てに対応する体制・制度があるので、それを運用している。成績評価は、より客観的な評価になるように、他の研究領域の教員が参加する研究発表会を行い、こうした議論に基づき担当教員が評価している。 加えて、本専攻では、博士課程修了学生は修了年度の次年度に学科の紀要「生活造形」において、修士論文の概要や重要な論考を発表している。この発表を通じて、専攻の教員は、修士論文の内容や成果を的確に把握することができるようになってきている。
<b>【点検・評価】必ず記入…効果が上がっている事項または、改善すべき事項のうち、どちらか記入(両方記入可)。</b>
<b>【成果および伸長方策】…現状説明の中から効果が上がっている事項を箇条書きで記入。</b>
多くの分野の教員が参加する発表会を行い、学生の論理的思考と研究成果の表現力が高まっている。 博士前期課程の修士論文は紀要「生活造形」に毎年掲載されている。
<b>【課題および改善方策】…現状説明の中から改善すべき事項を箇条書きで記入。</b>
<b>【将来に向けた発展方策】…実行可能な方策が計画されている場合のみ具体的に記入。</b>
<b>【将来に向けた発展方策(伸長方策)】…点検・評価(効果が上がっている事項)に関連させ、今後の伸長方策を記入。</b>
多くの分野の教員が参加する発表会を行う事を持続する。 紀要「生活造形」の発行を持続的に行う。
<b>【将来に向けた発展方策(改善方策)】…点検・評価(改善すべき事項)に関連させ、今後の改善方策を記入。</b>

**⑦ 教育課程及びその内容、方法の適切性について定期的に点検・評価を行っているか。また、その結果をもとに改善・向上に向けた取り組みを行っているか。**

<b>【現状説明】必ず記入…設定した目標の進捗状況・評価の視点を含め、400字～500字(10行以内)で現状説明を記入。</b>
本専攻では、博士課程修了学生は修了年度の次年度に学科の紀要「生活造形」において、修士論文の概要や重要な論考を発表している。この発表を通じて、専攻の教員は、修士論文の内容や成果を的確に把握することができるようになってきている。
<b>【点検・評価】必ず記入…効果が上がっている事項または、改善すべき事項のうち、どちらか記入(両方記入可)。</b>
<b>【成果および伸長方策】…現状説明の中から効果が上がっている事項を箇条書きで記入。</b>
<b>【課題および改善方策】…現状説明の中から改善すべき事項を箇条書きで記入。</b>

【将来に向けた発展方策】…実行可能な方策が計画されている場合のみ具体的に記入。

【将来に向けた発展方策(伸長方策)】…点検・評価(効果が上がっている事項)に関連させ、今後の伸長方策を記入。

【将来に向けた発展方策(改善方策)】…点検・評価(改善すべき事項)に関連させ、今後の改善方策を記入。

### 内部評価委員会からの評価結果(内部評価結果レポート)

#### 一般的なコメント(総評)

適切な点検・評価が行われています。改善・発展方策も適切です。

#### 改善勧告コメント(点検単位からの意見を求めるもの)

### 内部評価結果レポートの改善勧告コメントに対する点検単位の意見

意見

## ◆点検シート(新基準)

評価基準	5 学生の受け入れ	点検単位	家政学研究科 生活造形学専攻
点検・評価年度	2018年度(対象:2017年度)		

## ① 学生の受け入れ方針を定め、公表しているか。

【現状説明】必ず記入…設定した目標の進捗状況・評価の視点を含め、400字～500字(10行以内)で現状説明を記入。

生活造形学専攻では、学生の受け入れ方針を以下のように明示している。

「生活造形学専攻は、造形意匠学、アパレル造形学及び空間造形学の3研究領域において、それぞれの専門性を高めるとともに、総合的学問体系としての生活造形学の確立を目指して学際的・総合的な視点を身に付け、生活者としての問題意識に立脚し、具体的な造形物に即して研究を進めることができる研究者、女性の社会的活動分野の広がりに応じて総合的・専門的に活躍できる職業人を育成しようとするものです。そのために造形意匠学、アパレル造形学、空間造形学分野における専門的知識を有するすぐれた人材を、大学院入学選抜試験において求めます。」

【点検・評価】必ず記入…効果が上がっている事項または、改善すべき事項のうち、どちらか記入(両方記入可)。

【成果および伸長方策】…現状説明の中から効果が上がっている事項を箇条書きで記入。

平成25(2013)年3月に学生の受け入れ方針が規則に定められた。

受け入れ方針は、下記ホームページで掲示されている。

<http://www.kyoto-wu.ac.jp/nyushi/daigakuin/houshin/kasei.html>

【課題および改善方策】…現状説明の中から改善すべき事項を箇条書きで記入。

【将来に向けた発展方策】…実行可能な方策が計画されている場合のみ具体的に記入。

【将来に向けた発展方策(伸長方策)】…点検・評価(効果が上がっている事項)に関連させ、今後の伸長方策を記入。

【将来に向けた発展方策(改善方策)】…点検・評価(改善すべき事項)に関連させ、今後の改善方策を記入。

## ② 学生の受け入れ方針に基づき、学生募集及び入学選抜の制度や体制を適切に整備し、入学選抜を公正に実施しているか。

【現状説明】必ず記入…設定した目標の進捗状況・評価の視点を含め、400字～500字(10行以内)で現状説明を記入。

学生の受け入れ方針に基づき、建築、意匠、アパレルの3分野の各研究領域から選出された複数の教員により公正かつ適切に学生募集および入学選抜が行われている。

また募集については、生活デザイン研究所との連携により学生の学術的関心が高まっていると思われる。

【点検・評価】必ず記入…効果が上がっている事項または、改善すべき事項のうち、どちらか記入(両方記入可)。

【成果および伸長方策】…現状説明の中から効果が上がっている事項を箇条書きで記入。

学生の受け入れ方針に基づき、建築、意匠、アパレルの3分野の各研究領域から選出された複数の教員により公正かつ適切に学生募集および入学選抜が行われていることで、公正に評価できていると言える。

また、意匠領域において入学選抜数が微増してきたのは、指導教員や授業担当教員を充実したことや、生活デザイン研究所との連携の結果だと考えられる。

【課題および改善方策】…現状説明の中から改善すべき事項を箇条書きで記入。

【将来に向けた発展方策】…実行可能な方策が計画されている場合のみ具体的に記入。

【将来に向けた発展方策(伸長方策)】…点検・評価(効果が上がっている事項)に関連させ、今後の伸長方策を記入。

指導教員の多様な学術的関心を高めること。

【将来に向けた発展方策(改善方策)】…点検・評価(改善すべき事項)に関連させ、今後の改善方策を記入。

教員数の増加が必要である。

**③ 適切な定員を設定して学生の受け入れを行うとともに、在籍学生数を収容定員に基づき、適正に管理しているか。**

<b>【現状説明】必ず記入…設定した目標の進捗状況・評価の視点を含め、400字～500字(10行以内)で現状説明を記入。</b> ※個別の視点での記入は不要です。
<b>【点検・評価】必ず記入…効果が上がっている事項または、改善すべき事項のうち、どちらか記入(両方記入可)。</b> <b>【成果および伸長方策】…現状説明の中から効果が上がっている事項を箇条書きで記入。</b> ※個別の視点での記入は不要です。
<b>【課題および改善方策】…現状説明の中から改善すべき事項を箇条書きで記入。</b> ※個別の視点での記入は不要です。
<b>【将来に向けた発展方策】…実行可能な方策が計画されている場合のみ具体的に記入。</b> <b>【将来に向けた発展方策(伸長方策)】…点検・評価(効果が上がっている事項)に関連させ、今後の伸長方策を記入。</b> ※個別の視点での記入は不要です。
<b>【将来に向けた発展方策(改善方策)】…点検・評価(改善すべき事項)に関連させ、今後の改善方策を記入。</b> ※個別の視点での記入は不要です。

**④ 学生の受け入れの適切性について定期的に点検・評価を行っているか。また、その結果をもとに改善・向上に向けた取り組みを行っているか。**

<b>【現状説明】必ず記入…設定した目標の進捗状況・評価の視点を含め、400字～500字(10行以内)で現状説明を記入。</b> 教員会議で、学生の入試試験の成績の妥当性を検証しており、公正に行われていると言える。
<b>【点検・評価】必ず記入…効果が上がっている事項または、改善すべき事項のうち、どちらか記入(両方記入可)。</b> <b>【成果および伸長方策】…現状説明の中から効果が上がっている事項を箇条書きで記入。</b> 異なる学問領域の教員が、相互に希望学生の研究目標や方法をチェックしている。
<b>【課題および改善方策】…現状説明の中から改善すべき事項を箇条書きで記入。</b>
<b>【将来に向けた発展方策】…実行可能な方策が計画されている場合のみ具体的に記入。</b> <b>【将来に向けた発展方策(伸長方策)】…点検・評価(効果が上がっている事項)に関連させ、今後の伸長方策を記入。</b> 異なる学問領域の教員で学生の示す研究目的と妥当性について確認を怠らないことを持続することである。
<b>【将来に向けた発展方策(改善方策)】…点検・評価(改善すべき事項)に関連させ、今後の改善方策を記入。</b>

**内部評価委員会からの評価結果(内部評価結果レポート)**

<b>一般的なコメント(総評)</b> 適切な点検・評価が行われています。改善・発展方策も適切です。
<b>改善勧告コメント(点検単位からの意見を求めるもの)</b>

**内部評価結果レポートの改善勧告コメントに対する点検単位の意見**

<b>意見</b>
-----------



## ◆点検シート(新基準)

評価基準	6 教員・教員組織	点検単位	家政学研究科 生活造形学専攻
点検・評価年度	2018年度(対象:2017年度)		

## ① 大学の理念・目的に基づき、大学として求める教員像や各学部・研究科等の教員組織の編制に関する方針を明示しているか。

【現状説明】必ず記入…設定した目標の進捗状況・評価の視点を含め、400字～500字(10行以内)で現状説明を記入。

大学として求める教員像については、『京都女子大学大学院研究科担当教員選考内規』『修士課程・博士前期課程担当教員の資格基準』の第3条に、「修士課程及び博士前期課程の研究科授業担当教員(以下「授業担当教員」という。)は、次の各号の一に該当し、かつ、当該専攻授業科目を担当する能力がある者でなければならない。」と明記されている。

また、同内規第4条には、「修士課程及び博士前期課程の研究科指導教員(以下「指導教員」という。)及び研究科指導補助教員(以下「指導補助教員」という。)は、前項の各号の一に該当し、当該専攻の授業科目を担当するのみならず学位論文作成等の指導について高度の見識と能力を十分に有する者でなければならない。」と明確に定められている。

生活造形学専攻においては、上記規定に基づき教員組織の編制を行っている。

上記のように、明示されている。

【点検・評価】必ず記入…効果が上がっている事項または、改善すべき事項のうち、どちらか記入(両方記入可)。

【成果および伸長方策】…現状説明の中から効果が上がっている事項を箇条書きで記入。

『京都女子大学大学院研究科担当教員選考内規』に基づき、大学院生の研究指導体制が整い、左記の内規に明示されている。

【課題および改善方策】…現状説明の中から改善すべき事項を箇条書きで記入。

【将来に向けた発展方策】…実行可能な方策が計画されている場合のみ具体的に記入。

【将来に向けた発展方策(伸長方策)】…点検・評価(効果が上がっている事項)に関連させ、今後の伸長方策を記入。

【将来に向けた発展方策(改善方策)】…点検・評価(改善すべき事項)に関連させ、今後の改善方策を記入。

## ② 教員組織の編制に関する方針に基づき、教育研究活動を展開するため、適切に教員組織を編制しているか。

【現状説明】必ず記入…設定した目標の進捗状況・評価の視点を含め、400字～500字(10行以内)で現状説明を記入。

『京都女子大学大学院研究科担当教員選考内規』『修士課程・博士前期課程担当教員の資格基準』に則り、研究科の教育課程に相応しい教員組織となるように整備したのである。3研究領域の授業科目にはそれぞれ資格審査を受けた教員が配置されている。新規採用時においては大学での教育実績を考慮して、大学院の授業担当を決めるなど、きめ細かな教員の配置を行っている。

【点検・評価】必ず記入…効果が上がっている事項または、改善すべき事項のうち、どちらか記入(両方記入可)。

【成果および伸長方策】…現状説明の中から効果が上がっている事項を箇条書きで記入。

『京都女子大学大学院研究科担当教員選考内規』『修士課程・博士前期課程担当教員の資格基準』に則り、研究科の教育課程に相応しい教員組織となるように整備したので、大学院生が専門研究領域を超えて、幅広く研究できる体制が整った。

【課題および改善方策】…現状説明の中から改善すべき事項を箇条書きで記入。

【将来に向けた発展方策】…実行可能な方策が計画されている場合のみ具体的に記入。

【将来に向けた発展方策(伸長方策)】…点検・評価(効果が上がっている事項)に関連させ、今後の伸長方策を記入。

『京都女子大学大学院研究科担当教員選考内規』『修士課程・博士前期課程担当教員の資格基準』を遵守することである。

【将来に向けた発展方策(改善方策)】…点検・評価(改善すべき事項)に関連させ、今後の改善方策を記入。

**③ 教員の募集、採用、昇任等を適切に行っているか。**

**【現状説明】必ず記入…設定した目標の進捗状況・評価の視点を含め、400字～500字(10行以内)で現状説明を記入。**

教員の募集は公募制を採用し募集し大学院担当の教員の中から審査委員会を組織して、採用の適否を判断している。  
教員の昇進についても、審査委員会を組織して、昇進の適否を判断している。

**【点検・評価】必ず記入…効果が上がっている事項または、改善すべき事項のうち、どちらか記入(両方記入可)。**

**【成果および伸長方策】…現状説明の中から効果が上がっている事項を箇条書きで記入。**

授業編成に準じた教員の採用と昇進を行っている。

**【課題および改善方策】…現状説明の中から改善すべき事項を箇条書きで記入。**

**【将来に向けた発展方策】…実行可能な方策が計画されている場合のみ具体的に記入。**

**【将来に向けた発展方策(伸長方策)】…点検・評価(効果が上がっている事項)に関連させ、今後の伸長方策を記入。**

**【将来に向けた発展方策(改善方策)】…点検・評価(改善すべき事項)に関連させ、今後の改善方策を記入。**

**④ 教員の資質の向上を図るための方策を組織的かつ多面的に実施し、教員及び教員組織の改善につなげているか。**

**【現状説明】必ず記入…設定した目標の進捗状況・評価の視点を含め、400字～500字(10行以内)で現状説明を記入。**

教員は、毎年、研究活動、研究成果報告書を大学に提出している。各教員の業績はWeb上の[教員業績データベース]で随時入力が可能であり、ホームページ上の教員紹介から閲覧できるようになっており、生活造形学専攻では全教員が登録している。  
生活造形学専攻では、生活造形学科が毎年発行する紀要『生活造形』に、研究活動報告を掲載するなど教員資質の向上を図るための方策を講じている。  
教育に関しては、授業評価を実施し、それに対しての改善策について、HPで確認できるようになっている。

**【点検・評価】必ず記入…効果が上がっている事項または、改善すべき事項のうち、どちらか記入(両方記入可)。**

**【成果および伸長方策】…現状説明の中から効果が上がっている事項を箇条書きで記入。**

**【課題および改善方策】…現状説明の中から改善すべき事項を箇条書きで記入。**

**【将来に向けた発展方策】…実行可能な方策が計画されている場合のみ具体的に記入。**

**【将来に向けた発展方策(伸長方策)】…点検・評価(効果が上がっている事項)に関連させ、今後の伸長方策を記入。**

**【将来に向けた発展方策(改善方策)】…点検・評価(改善すべき事項)に関連させ、今後の改善方策を記入。**

**⑤ 教員組織の適切性について定期的に点検・評価を行っているか。また、その結果をもとに改善・向上に向けた取り組みを行っているか。**

**【現状説明】必ず記入…設定した目標の進捗状況・評価の視点を含め、400字～500字(10行以内)で現状説明を記入。**

学生の専門領域に関する動向に着目した教員組織のあり方について議論を行い始めている。  
教員は、毎年、研究活動、研究成果報告書を大学に提出している。各教員の業績はWeb上の[教員業績データベース]で随時入力が可能であり、ホームページ上の教員紹介から閲覧できるようになっており、生活造形学専攻では全教員が登録している。  
生活造形学専攻では、生活造形学科が毎年発行する紀要『生活造形』に、研究活動報告を掲載するなど教員資質の向上を図るための方策を講じている。  
教育に関しては、授業評価を実施し、それに対しての改善策について、HPで確認できるようになっている。  
上記を通じて得たデータと学生の研究動向に基づく組織の再編成について検討を行っている。

**【点検・評価】必ず記入…効果が上がっている事項または、改善すべき事項のうち、どちらか記入(両方記入可)。**

**【成果および伸長方策】…現状説明の中から効果が上がっている事項を箇条書きで記入。**

学生の専門領域に関する動向は社会状況にもより変動するので、中長期的視点に立ち、技術革新などに対応できる教員組織のあり方について議論を始めている。

【課題および改善方策】…現状説明の中から改善すべき事項を箇条書きで記入。

【将来に向けた発展方策】…実行可能な方策が計画されている場合のみ具体的に記入。

【将来に向けた発展方策(伸長方策)】…点検・評価(効果が上がっている事項)に関連させ、今後の伸長方策を記入。

【将来に向けた発展方策(改善方策)】…点検・評価(改善すべき事項)に関連させ、今後の改善方策を記入。

#### 内部評価委員会からの評価結果(内部評価結果レポート)

##### 一般的なコメント(総評)

適切な点検・評価が行われています。改善・発展方策も適切です。

##### 改善勧告コメント(点検単位からの意見を求めるもの)

#### 内部評価結果レポートの改善勧告コメントに対する点検単位の意見

##### 意見